

# おおぐち

Oguchi

## 議会だより

3月定例会 No.150  
平成16年5月1日

町の花「さくら」

### 主な内容

150号記念特集 <b>新成人と座談会</b>	2
<b>国・県の補助1億円カット</b> 平成16年度当初予算	4
水道料金値上げ(委員会ハイライト)	8
<b>巡回バス本格運行は(7人が一般質問)</b>	10
合併検討協議会が解散	17



元気なおおぐち (北小学校入学式)

新成人と座談会

ぜひ、中学校統合を実現して

成人の集い実行委員 & 議会だより編集委員



梶原さん

**伊藤委員長** これより、議会だより百五十号を記念する特集として企画した座談会を始めます。

昭和四十七年十二月に創刊してから、議会だよりも今月号で百五十号を数えるに至りました。今回は、記念号ということで平成十五年度成人の集い実行委員との座談会を企画しました。十五年度実行委員会は、一月十日に「きらきら星」と名付けた冬の花火、同月十二日には成人式を開催しました。その苦労話も交えながら、中学校統合や、将来の夢について和気あいあいと意見交換しました。

**宇野議長** 一月十二日の成人式、十日にはその序章として皆さん自らで企画した冬花火、ともに大成功をおさめられたこと、改めて敬意を表します。

人生で一番の社会勉強

**古池** 成人式と冬花火については、企画当初から訳がわからず、皆で力合わせてがんばりました。今回は、議員さんを始めたくさんの方々のご協力をいただき、本当に感謝しています。今までの人生の中で、今回の経験が一番の社会勉強になったと感じています。

**議長** 一月十日には「きらきら星」冬花火が盛大に開催されました。冬花火は、町制四十周年記念事業として二〇〇一年〇二年と実施しましたが、なぜ新成人自らで続けて企画しようと思ったのですか。

地域への感謝

**古池** 最初は独自の催しを考えていましたが、自分たちを育ててくれた地域への感謝の気持ちもあり、自分たちの力で継続できないかと企画しました。

**吉田副議長** 資金集めには大変苦労したと聞きました。



坂元さん



西村さん

二百五十万円もの協賛金

**古池** 約二十人のメンバーで企業・民家を歩いて回り、協力を求めましたが、時には「若い人だけ

で本当にできるの」という冷やかな言葉も受けました。それでも皆でがんばった結果、七百の個人・企業から約二百五十万円もの協賛金をいただきました。

**委員長** 本当によくがんばられたと感心します。この経験は必ず、将来役に立つと思います。

それでは、中学校統合を話題にしたいと思えます。現在、大中・北中い



議会だより編集委員

ずれも生徒数の適正規模三百六十三人以上七百二十人以下の範囲内にありません。平成二十年になれば、大中は適正になりますが、北中は依然下回る見込みです。また、中学校舎の老朽化の問題もあり、現在統合した新しい校舎の検討もされています。皆さんの出身校も大中・北中ですが、卒業された先輩としての考えを伺いたいと思います。

中学校統合に賛成

**古池** 統合して一クラスあたりの生徒数が多くなると、クラスのまとまりがよくなると思います。また、人数が多いと気が合う友達が見付けやすい面もあるので、統合には賛成です。



古池さん

教育実習で実感

**江口** 私は実際に北中で教育実習をしましたが、やはり生徒数の少なさを感しました。

**西小** 出身の生徒からは、中学生になると両中学校に分かれてしまうため、友達が減って寂しいとの声を聞きました。その点からも、私はぜひ中学校統合を実現してほしいと思います。

統合で部活動が活発に

**松崎** 私も統合に賛成です。中学校の部活動はいろんな面で自分が成長できる場です。学校の規模が大きくなれば選択できる部活動が増え、また部活動がさらに活発になると思うからです。

**下原** 私も北中の出身で、吹奏楽部に入っていました。やはり生徒数が少ないため、活発に活動ができなかったように感じます。少人数だからお互いよく分かりあえた面もありますが、どちらかというと統合に賛成です。

**吉田委員** 北中の人に聞きますが、自分の希望する部活動が選べましたか。

**下原** 私はたまたま自分の好きな吹奏楽部に入れて、運が良かったと思っています。



成人の集い実行委員

**吉田委員** 統合して卒業した中学校が無くなるのが寂しくないですか。

**坂元** 母校がなくなるのは寂しいですが、統合はした方がいいと思います。

**委員長** 皆さんの意見を聞きましたが、全体



江口さん

将来の夢は 会社社長

**古池** 自分の会社を持つことです。

**梶原** 行政書士になるため、一生懸命勉強しています。今は、勉強が楽しくて仕方がありません。

**江口** 海外で自分の視野をもっと広げていけたらと考えています。

**西村** IT関連の仕事に就きたいです。

**坂元** 今までがんばって育ててくれた両親に、早く恩返しできたらと思います。

**下原** 今は、外国語専門学校に通っていますが、二月から塾の講師としてがんばります。



松崎さん



下原さん

個性を生かし 看護師に

**松崎** 今、看護学校に通って看護師を目指しています。いろいろな人に出会える職業なので、自分の個性を生かしてがんばりたいと思います。

**委員長** ありがとうございます。町の将来を託せるような前向きな発言に勇気づけられました。今後も、議会だよりのご愛読をお願いするともに、皆さんのこれからのがんばりに期待します。

**成人の集い実行委員会**  
 委員長 古池 竜也  
 副委員長 梶原 庸平  
 委員 江口 泉美、西村 理敏、坂元 晴香、下原 夕佳、松崎 有里子、北 北

**議会だより編集委員会**  
 委員長 伊藤 錦邑  
 副委員長 柘植 満  
 委員 吉田 正、鈴木 喜博、寺澤 正和、酒井 久和、宇野 昌輝、吉田 正輝

※大は大中、北は北中出身

# 新年度予算 **117** 億円 前年対比 3.8%増を可決

いよいよやってきた地方分権時代

## 国・県の補助 1億円カット



町の予算は、いろいろな分野に生かされています。(南保育園)

3月定例会は、3日から24日まで22日間の会期で開かれました。年度当初でもあり、町長の施政方針を受けて提案された16年度一般会計を初め、特別会計当初予算、15年度補正予算、職員派遣や旅費条例改正などを含め、29議案及び議員提出議案1件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

そのほか請願・陳情については、所管の常任委員会で審査し、一般質問では7人が町政全般にわたり鋭い指摘をしました。



柏森駅ロータリーを經由する巡回バス

# どう生かす 大切なお金

## 当初予算 第六次総合計画に着手

今回の一般会計当初予算は、七十四億二千万円で前年度当初と比べて五・五%の増となりました。これは、平成七及び八年度の減税補てん債三億六千万円を含むため、その分を差し引くと実質〇・四%の増となります。本年度は国の三位一体改革などにより、国・県補助額が合わせて一億三百三十万円、前年度より減少しています。

### 高齢者活動支援 センターを建設

歳出においては、福祉関係の民生費が最も多く、次いで教育費、総務費、土木費と続き、予算の約七十%を占めています。

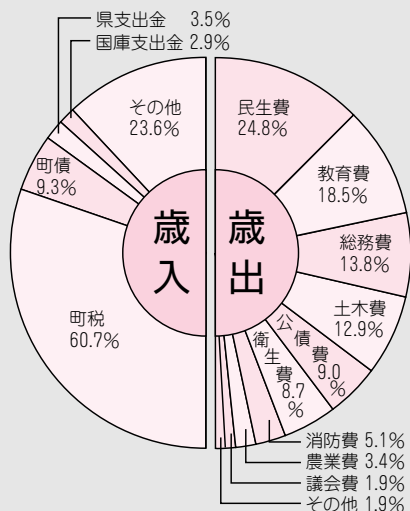
増えたおもな費用は、公債費三億二千万円、民生費一億四千万円、総務費六千万円であり、公債費は減税補てん債の償還、民生費は高齢者活動支援センター建設工事、

## 平成16年度予算総額 117億8,158万円

(前年対比 3.8%増)

### ●一般会計● (前年対比5.5%増)

## 74億2,000万円



### ●特別会計● (前年対比1.0%増)

## 43億6,158万円

国保	16億1,158万円	0.2%
老人保健	13億660万円	1.6%
下水道	7億6,491万円	4.2%
介護保険	6億3,776万円	5.5%
職業福祉	2,834万円	0.4%
訪問看護	951万円	▲42.4%
社本育英	151万円	160.3%
国際交流	137万円	448%
土地取得	4千円	▲100.0%

総務費は巡回バス試行事業や第六次総合計画基礎調査によるものです。特別会計は、前年度当初と比べて一・〇%の増であり、国民健康保険と老人保健が最も多く、次いで下水道、介護保険と続き、特別会計の約九十九%を占めています。前年対比では、国際交流が最も多く、これは前年度からの繰り越しによるもの、社本育英の増額については百万円の寄附人件費・事業収入の減額によるものです。



完成が待たれる北児童センター(健康福祉常任委員が視察)

# 町長の施政方針 私のまちづくり

町長は三月定例会で、平成十六年度施政方針を発表し、地方分権時代に対応した四つの重点施策を掲げました。本年度からは、従来の三本柱に④が加わっております。

- ① **サイバータウン構想**  
小中学校ＩＴ化の推進
  - ② **全町農業公園構想**  
循環型社会と堆肥化
  - ③ **住民参画のまちづくり**  
NPO活動助成など
  - ④ **安全安心のまちづくり**  
安全で安心な町に
- **その他の事業**
- 巡回バス試行事業
  - 郷浦排水路改修事業
  - 高齢者活動支援センター整備事業
  - 身体・知的障害者デイサービスセンター整備事業

## 予算を 探る

## 町長に

## まちづくりを問う

### ● 一般会計当初予算

#### 配偶者特別控除 上乗せ分が廃止

**問** 十七年度より、個人町民税で配偶者特別控除の上乗せ分が廃止になる場合の影響額は。

**答** 約三千六百万円である。

#### 郷浦排水路 改修に一億円

**問** 改修工事費一億円の内容は。

**答** 十五年度からの延長工事で、ボックスカルバート(ふたつき)四十m、その北側を開渠(ふたなし)で三百mの施工予定。

#### 県から教育指導 主事派遣

**問** 十六年度から県より指導主事が派遣されるのか。

**答** 自治体が派遣主事の給与などの二分の一を負担し、学校の授業や教員への指導に努めてもらう。

#### 第六次総合計画 には住民の声を

**問** 第六次総合計画には住民の声を反映させるべきでは。

**答** 住民の意向を十分反映していく。

#### 巡回バスを 民間委託

**問** 十六年度の巡回バス試行にあたっての考えは。

**答** 民間バス事業者への委託も視野に入れていきたい。

### ● 特別会計当初予算

#### 人間ドックは 抽選に

**問** 国保の人間ドック・脳ドックの受付方法を変更するのか。

**答** 従来まで先着順であったのを、十六年度からは抽選方法(はがき)による抽選方法にしていく。十六年度は人間ドック二百人、脳ドック百人を予算化している。



工事予定の郷浦排水路



老人福祉センター

●●そのほか議会で決まったこと●●

**指定管理者に  
老人福祉センター  
運営委員会**

昨年十二月定例会で、公の施設の指定管理者指定に関する条例が可決され、本年一月臨時会において、老人福祉センターの指定管理者として、「老人福祉センター運営委員会」が指定されました。指定期間は、本年二月一日から平成十八年三月三十一日までになります。

**商工会と  
県振興協会に  
町職員派遣**

現在、社会福祉協議会とシルバー人材センターに町職員を派遣しておりますが、新たに町商工会と県市町村振興協会に町職員を派遣します。

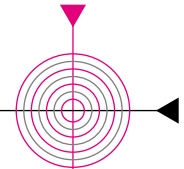
**工事請負変更契約  
県道草井羽黒線  
町道河北六号線**

- 交差点改良工事
- 変更後契約金額 八千六百六十九万百円
- 変更増額分 四百七十九万百円
- 変更理由 舗装厚の変更など
- 請負業者 熊沢建設(株)

**ご寄附ありがとうございます  
ございました**

○二ツ屋の水野理三郎様から、老人福祉事業費として、百万円

## 皆さんの**請願**



# 陳情

請願二件・陳情一件を審査

所管の常任委員会で審査した結果、請願一件は採択、一件は継続審査、「地方財政計画・地方交

付税などの見直し」の陳情は総務文教において委員長預かりと決しました。

▽**県に提出した意見書**  
尾北地域に新たな養護学校の建設を求める意見書

▼**継続審査の請願**▲

「乳幼児医療無料制度の拡大を求める請願」

▽**請願者**

余野三丁目  
藤田 美保さん初め  
二千八百十一人

▽**紹介議員**

酒井 久和

▽**所管** 健康福祉

▽**請願の内容**

通院の対象年齢を医科は七歳未満児まで、歯科を中学校卒業まで拡大し、入院・通院とも窓口での無料化を求めるもの。

▽**継続の理由**

十分慎重に対処すべき。

▼**採択した請願**▲

「愛知県立一宮東養護学校のマンモス化の解消を求める請願書」

▽**請願者**

障害をもつ子の教育と生活を考える会代表  
宮地 桂子さんほか

▽**所管** 総務文教

県立一宮東養護学校の定員も開校当初の約二倍となり、教室や体育館など過密状態であるため、尾北地域に新たな養護学校を建設し、スクールバスも増車するよう県に要望。  
(提出者 宮地計年議員ほか4人)



一宮東養護学校

# ハイライト

## 総務文教

公益法人への職員派遣の条例改正を初め、十六年度一般・特別会計予算



地区の防犯灯

など、付託された十三議案について審査し、すべて可決されました。

また、中学校統合に向け、十七年度から建設特別委員会を設置していく考えが示されました。

### 合併問題は区切りをつけながら検討

**問** 二市二町合併検討協議会で町長は、任意協議会での議論はやぶさかでないとしながらも、都市内分権の考えに温度差があるため、四月法定協議会への不参加を表明した。議会側も同様な考えであるが、町として今後の方向性は。

**答** 今後は、区切りをつけながら検討していく。

### 防犯灯設置基準策定していく

**問** 地区の防犯灯設置は十六年度から町の全額補助だが、設置基準はあるのか。また予算は何基分か。

**答** 百五十基分の計上であり、基準は今後、安全安心まちづくり委員会で協議していく。

### 明日の学校づくり検討委員会を設置

**問** 明日の学校づくり検討委員会の内容は。

**答** 通学区区域審議会委員や一般公募の二十人程が委員となり、新たな中学校建設に向け検討していく。

### 地域集会所耐震診断も検討

**問** 学共の耐震診断は十六年度に終了するのか。地域の集会所の予定は。

**答** 学共の耐震診断は十六・十七年度に二カ所ずつ、集会所については学共が終了後検討していく。

### ヤフー契約者情報流出で対処

**問** ソフトバンク運営のヤフーBBが契約者情報を流出した。本町は、ソフトバンクとADSL実証実験を共同で進めた経緯があるため、町から契約者への対応が必要では。

**答** 契約はヤフーとの個人契約のため、町からヤフーへは文章を出すのが、住民にはホームページで周知する。

### 水道料金やむなく値上げ

**問** 十六年度から水道料金を十二・四%値上げせず、大口・扶桑町から合わせて三千五百万円出資する考えはないのか。

**答** 今回の値上げは、留保資金が目減りしたため、やむなく実施するものであり、今後は本町が管理者となるため配慮したい。



水道料金値上げ分は住民の負担



# 委員会

## 健康福祉

十五年度一般・特別会計補正予算、十六年度一般・特別会計予算など、付託された十二議案を審査し、すべて可決されました。

### 高齢者支援センター 総合グラウンド北側に

**問** 高齢者活動支援センター建設予定場所は。

**答** 総合グラウンド北側の駐車場を予定している。

### 子ども会への補助は 削減するな

**問** 子ども会や老人クラブへの補助額が、前年度より削減されている理由は。特に子ども会の補助削減は、地域活動を停滞させるのでは。

**答** 補助額は前年度の実績を基に算出しており、子ども会については、シユニアネットフォーラムを立ち上げ、自主的な活動を展開している。

### デイサービスセンター 十七年度までに完成

**問** 身体・知的障害者デイサービスセンター整備事業の内容は。

**答** おおぐち福祉会が事業主体であり、自己資金と国・県・町からの補助で、工事費総額は一億三千万円程である。

### 基本健康受診者 昨年度より増加

**問** 基本健康診査の受診状況は。

**答** 十五年度は、昨年度より二百人増え、二千六百八十三人である。

## 環境建設

公共下水道関連の条例廃止を始め、十五年度一般・特別会計補正予算、十六年度一般・特別会計予算など、付託された七議案を審査し、すべて可決されました。

### 県道小口名古屋線 県土木と拡幅を協議

**問** 外坪一丁目交差点付近の拡幅の要望があるが。

**答** 地権者の理解をいただきながら、県土木と協議し進めたい。

### 小口線の延長 早々地元説明会を

**問** 小口線が開通したが、県道小口岩倉線以南の延長は。

**答** 早々、地元説明会に入っていきたい。

### 全町的な堆肥化事業を検討

**問** 生ごみ堆肥化は全町で展開していくのか。

**答** 地区の面積・人口・設置場所などを考慮しながら、区割りを検討している。



完成した小口線を視察



ここが聞きたい!

# 町政を問う

3月定例会の一般質問は  
7人が質問しました。

## 巡回バス本格運行は 16年度中に設定



**河合** 二月十六日から  
土・日・祝日も  
含めた運行を実施してい

るが、いつまでの予定  
か。

経路変更前と後の利用  
状況は。また、利用者一  
人当たりの経費は。

本格運行に向け、運行  
経費の何パーセント以上  
の利用収入があれば、継  
続する目的が立つと考え  
ているのか。

**政策調整室長** 十六年  
度中に

課題の洗い出しと運行方  
法を検討し、試行期間を  
設定していく。

経路変更後の利用状況  
は、一日運行便数は以前  
より大幅に減少したが、  
乗車率は一人増え、一  
台あたり約三人である。

しかし、一日利用者数は  
二百人前後で変わりはな  
い。利用者一人当たりの  
経費は七百円程である。

本格運行に向け、高齢  
者・子どもの利用促進、  
大型商業施設との連携を  
図りながら、利用料金収  
入やその他の収入方法を  
検討していく。



役場前で停車中の巡回バス

## どう進める農業公園構想 まずは知識習得から

**河合**

施策方針の農業  
公園構想の中で、

地産地消がある。高齢者  
の能力や、今後見込まれ  
る生ごみ堆肥・遊休田畑  
を利用し、生産経過がわ  
かる食材を保育園・小中  
学校に供給する組織を設  
置できないか。

**町長**

循環型社会や有  
機農法の振興を

図るため、生ごみ堆肥化  
事業に取り組んでいる  
が、今後は町独自の有機  
農法認定制度導入や、専  
門的知識・技術の習得も  
促進していく。



## 拡大せよ

## 乳幼児医療無料制度

## 拡大には反対

### 吉田

① 乳幼児医療無料制度の拡大

を求める請願が、議会に提出されているが、町長の見解を伺う。

② 拡大は考えられないとの答弁だが、署名された人に分かるよう説明してほしい。

### 町長

① 現時点での拡大は考えていない。

医療保険制度や保健医療システムなどの総合的な改革による財源の見直しが見守っていききたい。

② 医療費が無料だと、なかなか本人に医療費の行政負担分の理解がいただけないと思う。

町財政の認識、わが子とのきずな・健康への留意を促す意味においても、やはり本人の一部負担は必要と考えるため、拡大には反対である。

## 学童保育の充実を

## 対象学年の拡大は考えていない

### 吉田

① 対象学年を昨年十二月議会で採択したが、請願のとおり拡大していただきたい。

② 夏休みなどの長期休暇中、朝八時から八時三十分まで父母によつてかぎ当番が行われている。朝の開始時間を早めてほしいが。

③ 実態を知るために、ぜひ町長もかぎ当番を体験してほしい。

### 町長

① 学童保育は十歳未満の児童

に対し、施設などを利用して、授業後の健全育成を図るものである。十歳から十五歳は、自己判断で責任を持って行動させ、それを周りの大人が見守

っていくことが大切である。よって、対象学年の拡大は考えていない。

② 今後も、父母の会と話し合いながら、この体制を進めたい。

③ 一度視察させていただきたい。



西児童センター学童保育「西っ子ファミリー」



# 小学校にも心の教室相談員を 検討を重ねていく

**寺澤** 現在、中学校には心の教室相談員を配置している。最近、問題児とか、子どもに関わる事件が低年齢化している。

小学生の段階から、不登校やいじめなどの早期発見を図るため、小学校にも心の教室相談員を配置してはどうか。

**教育長** 小学校では、校よりもADHD児童が増加傾向にあり、特に多い西小では特別支援教育指導講師の配置を要望している。

今後は、小学校と心の教室相談員のあり方の検討を重ねながら、中学校での状況を踏まえ、児童の健全育成に努めていく。

※ADHDとは、行動を制御する脳の機能の不具合で生じるとされ、注意欠陥・多動性障害の1つ。

## 要保護児童の就学援助 当面は現状のまま続ける



大口中学校 藤岡さん  
「心の教室相談員」



北部中学校「心の相談室」



北部中学校 西岡さん  
「心の教室相談員」

**寺澤** 要保護・準要保護及び不登校や休みがちな児童生徒の状況は。

今後、そうした児童生徒の就学援助をどう継続する考えか。

**教育長** 二月一日現在  
の小学校全体  
では、要保護七人、準要保護百十九人、中学校全体では要保護三人、準要保護四十四人である。

十五年度の二月末現在で長期的な欠席者は、小学校合わせて二十一人であり、その内十七人が不登校者である。

現在、小中学校の要保護・準要保護百七十三人に対し、就学援助している。今後、国の補助率が年々低下する状況であるが、当面は現状の援助を続ける。

※要保護・準要保護とは、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対する公的な援助。

## 地域の防災計画

# 地域住民と協働して確立

### 斉木

災害発生時に  
ける避難所の選  
定や確保、誘導方法、社  
会的弱者の移送など、各  
区とどう連絡体制を整備  
していくのか。

地域の安全、防災知識  
の普及、資材の整備、防  
災訓練の指導などによ  
り、住民の防災意識を高  
める必要があると思うが  
どうか。

各地域の「自主防災の  
組織化」や「組織のリー  
ダー育成」については、  
どう取り組んでいくの  
か。

### 総務部長

避難所とな  
る学校体育  
館や学共施設を十八年度  
までに、役場庁舎は十九  
年度から対策を講じてい  
く。

また、情報設備の確保  
など自治区の防災活動拠  
点も視野に入れ、事業展  
開を図っていく。組織の  
あり方、連絡体制の整  
備、社会的弱者への対応  
や避難誘導などについて

も、区長を中心とした防  
災リーダーと整備してい  
く。

災害用資機材について  
は、非常食の備蓄など整  
備しているが、家庭での  
備蓄なども含めた防災意  
識の啓発を図っていく。  
今後は、自主防災組織  
やボランティア団体、地  
域住民と行政が協働し、  
よりよい地域防災計画を  
確立していきたい。

### 斉木

東南海・南海地  
震の防災地域に

指定され、無料で木造耐  
震診断、改修費補助を実  
施しているが、利用は低  
調である。もっと積極的  
に啓発する必要があると  
思うがどうか。

小規模事業者登録制度  
で耐震改修工事も取り扱  
いできるよう、商工会と  
ともに啓発に努め、利用  
しやすい支援制度にすべ  
きではないか。

### 町長

耐震診断は平成  
十七年度まで、

改修費補助は十八年度ま  
で実施するが、十五年度  
の診断棟数は六十四棟  
で、改修費補助の申請は  
なかった。

十六年度は周知方法を  
見直し、簡易診断票の配

付やポスターでの啓発と  
ともに、地震に対する防  
災意識の啓発も実施す  
る。

耐震改修工事について  
は資格なども必要なた  
め、今後は、商工会とも  
連携し、民間による啓発  
活動を支援していく。



## 木造耐震診断の 啓発は 周知方法を見直す



昨年9月に実施の防災訓練



# 安全安心なまちづくりを 住民と取り組む

## 柘植

県下の刑法犯罪  
件数は、十年間

で約二倍に激増し、治安水準はきわめて危険である。

- 住民の生活を守るため、治安対策と学校安全対策への取り組みは。
- ① 各地区の自主パトロール隊への助成支援を。
  - ② 情報を共有するネットワークの構築を。
  - ③ 「生活安全条例」制定の考えは。
  - ④ 各家庭の玄関灯を日没から夜明まで灯す「一戸一灯」運動の考えは。
  - ⑤ 町職員・教職員・保育士・中学生などに救急救命講習の実施を。
  - ⑥ 小中学生に防犯ブザーの配付を。
  - ⑦ 通学路を総点検して安全マップの作成を。
  - ⑧ 国の十六年度からの「子どもの居場所づくり新プラン」策定に向け、町としての考えは。



下小口で地域安全パトロール隊が発足



PTAの自転車でパトロール

## 町長

① 防犯パトロール用反射チョッキなどの支援策を検討していく。

② 防災マップ・防犯マップ・生活情報マップなど、住民とともに双方向地図情報システムづくりに取り組んでいく。

③ 四月から「愛知県安全なまちづくり条例」施行に伴い、市町村も協働して体制を整備していく。

④ 「一戸一灯」運動については、啓発普及に努力する。

## 総務部長

⑤ 自主救護能力の向上を図るため、町職員・保育士には参加を呼びかけていく。教職員は毎年訓練、中学校も二年生時に基礎的な理論や技能を身につけているが、今後とも学校と協議し、進めていく。

## 教育長

⑥ 中学校では貸し出し、購入斡旋など実施しているが、小学校については江南警察の指導を仰ぎながら検討していく。

⑦ 現在、巡回バスの下校時での試行、PTAの自転車・車による「パトロール中」啓発活動を実施しているが、江南警察・学校・PTA・地域・行政の連携により、安全マップ作成を検討していく。

## 教育部長

⑧ 「子どもの居場所づくり新プラン」については、国・県・他市町の動向をみながら、情報収集に努め、関係機関と作成の検討をしていく。

# 幼保一元化は

## 試行的に 一園で実施

### 町長

現在、幼児教育と預かり保育を取り入れた幼保一元化を検討している。

十六年度から、保育所運営費にかかる国・県補助が、所得譲与税に転換

されたことに伴い、財源の試算も必要になってくる。

今後は、民営化も視野に入れ、試行的に一園で幼保一元化を実施していく。

### 木野

現在、乳幼児の新しい育成施設として、保育園と幼稚園双方の良いところを取り入れた「幼保一元化」の取り組みが進んでいる。

同じ地域の子どもが保護者の事情などで生じる乳幼児期の保育・教育の差をなくすための「幼保一元化」、また民間の活力を利用した施設運営をどう考えるか。



4月に開所したラ・モーナ幼稚園



## 学校評議員制度の導入

### 全面的に支援

### 木野

学校評議員制度は、学校長が幅広い分野から意見を聞きながら教育目標を立て、学校・家庭・地域が連携して、自主性・自立性を高めた学校運営をするものである。

本町では四月より制度を導入するが、各小中学校での取り組みや、教育委員会とのかかわりはどうするのか。

### 教育長

平成十五年度から小・中学校長と研究を重ね、本年二月に教育委員会において、制度導入の了承を得た。

子どもらの健やかな成長を促すためには、地域に開かれ、一体となった教育活動が大切なため、教育委員会としても、この制度を全面的に支援していく。



一般質問

木野春徳議員

# 国保事業の見直しは 公平性の観点で実施



**田中**

① 国保会計悪化最大の原因は、

国庫負担率四十五%が守られていないことにある。国に負担率の復元を強く求めよ。

② 同時にこの分を全額一般会計から繰り入れて、低所得者の保険税引き下げ、減免制度の充実にあてよ。

③ 国保加入者にも休業保障はされるべきである。傷病手当金の支給を条例で定めることは、法的に認められているがどうか。

**町長**

① 被保険者間の公平性の観点

からも、低所得者にも軽減の枠が広がる、現在の税体系は適正である。

国庫負担割合については、国保財政安定化のため、今後も県町村会を通じ国に要望していく。

② 現在の国保財政は医療費が年々増加し、赤字経営状態である。本来なら、毎年税率改正をして、収入を確保すべきであるが、やむなく一般会計から繰り入れている状況である。減免制度は、被保険者間の公平性から一定の限度下で実施する考えであり、今後も予防に力を入れていく。

**健康福祉部長**

③ 対象者を

限定した傷病手当制度の実施は、さらに国保財政の悪化を招くため、市町村国保にはそぐわないと考える。



75歳以上の方には福祉課窓口で交付

タクシー助成券

## 内部疾患障害者にも タクシー助成を

## 再度機会を

## とらえて検討

**田中**

透析患者は週に三回、ほぼ一日

かけての通院治療が必要である。こうした障害者に対して、江南市・扶桑町にはタクシー助成がある。

身体障害者はタクシー助成が必要だが、利用することが難しい人も多い。一方で、助成してほしいという内部疾患の障害者が対象にならないのは、矛盾するのではないかと。

**健康福祉部長**

現在、要綱に

より心身等に障害があり、外出が困難な方に対し、タクシー助成している。

内部疾患の八割程の方は、日常生活動作が「一人で行える」、「時間をかければできる」とのことから、タクシー助成を外出支援サービスに加える考えはないが、再度機会をとらえて検討していく。



## 二市二町

# 合併協議会が解散

昨年四月に犬山市を含めた三市二町合併検討協議会を設立し、協議を進めておりましたが、七月

犬山市の離脱表明後、本町から「都市内分権による穏やかな合併論」を提唱し、八月には二市二町の枠組みで任意合併検討協議会が設立されました。

その後、都市内分権研究会を発足し、理解を得られるよう努力してきましたが、やはり意識の違いが浮き彫りとなり、本年三月一日首長会において、酒井町長から「特例法期限内の合併を前提とした四月法定協議会設置には時期尚早」とやむな

く離脱の意思表示に至ったものです。

議会としても、総論的には四月法定協議会への参加は時期尚早との見解でありましたが、最終的に三月一日の酒井町長からの四月法定協議会への参加は時期尚早との表明を受け、三月二十二日、二市二町合併検討協議会が解散されました。

今後は、わが町の特色をさらに生かしながら、住民一人ひとりが誇りに思う地方分権時代に向けたまちづくりを、行政とともに進めていきたいと考えております。

## 一色町議会 広報編集委員が来町

# 議会だよりで意見交換

二月六日、幡豆郡一色町議会が本町へ、議会だよりの視察研修に来町されました。

一色町議会だよりは、平成十二年四月創刊と、まだ日が浅いにもかかわらず、編集方法は基本的に忠実で、独自の特色を出した非常に読みやすい広報紙でした。

本町と同様、一色町は全町村を対象に、毎年県で開催される広報クリニックで研修を重ねており、読んでもらえる広報紙づくりに真摯に取り組んでいる姿勢を感じました。写真説明は見やすく、写真は大きく、もう少し余白を、など指摘させていただく一方、「議員の抱負モットー」やインタビュー形式「私の思うこ

と」などは今後、本町でもぜひ取り入れていきたいと思われました。

その他、編集方法や体制などの違いを中心に、双方活発に意見を交換し、大変意義深い研修となりました。



一色町議会から熱心な質問

# 追跡

1年前の一般質問

## あれからどうなった？

議会だよりでは、定例議会での一般質問の要旨を掲載しておりますが、その後どのように町政に反映されたかを追跡調査してみました。

今回は、平成15年3月定例会からピックアップしました。

### サイバータウン構想とCATV

ブロードバンドを生かした住民参加の町政のあり方は。

町長答弁

### コンテンツづくりに努めていく

住民主体のクリエイト委員会による活動など、住民の目線を意識したコンテンツ（情報の内容）づくりに努めていく。

どうなった

### 南保育園にライブカメラ設置

小中学校では15年度に引き続き、スクールネット事業を推進している。また、クリエイト委員会提案により、南保育園で保護者向けライブカメラ設置、住民向けの動画配信などを進めている。



南保育園ライブカメラで園児の状況を把握



スライドステップを使って乗車する利用者

### 巡回バスに福祉施策を

本格運行の際は、障害者・高齢者の無料パスを検討できないか。

町長答弁

### 検討していく

無料パスや車両の低床化やドアの自動化など高齢者や障害者の利便性を高める検討をしていく。

どうなった

### ドア自動化を図った

昨年6月から、昇降時の際便利なスライドステップを装備し、ドアも自動化にしている。

# 直撃インタビュー

## 心の教室相談員はお姉さん

直撃インタビューでは、町内で元気に活躍されている方にスポットをあて、ご紹介します。

—心の教室相談員として、どのようなことを心がけていますか。

「まず、生徒からの相談内容をゆっくりと時間をかけて聞きます。それから、生徒と一緒に考えて、解決方法がみつかるまで手助けするよう心がけています。」

—心の教室相談員になるには、特に資格は必要ないと聞いてますが。

「特に資格は必要ありません。私の場合、就任時に認定心理士の資格はあ

りましたが、現在も大学院に通いながら学校心理士の資格取得を目指して勉強しています。」

—三年目と聞いていますが、最初の頃の苦労は。

「就任早々は、やはり生徒からの相談は本当に少なかつたですが、今では生徒がお姉さんのように慕って、気軽に足を運んでくれています。」

—中学校統合について、どう思われますか。

「私は北中出身ですが、やはり生徒数が大中よりも少ないため、部活動や行事などの盛上がりにも少欠ける面はありました。現在、大中と北中の吹奏楽部と一緒に活動していますが、本当に活気があり大会でも優秀な成績をおさめています。統合するにあたって



大口中学校「心の相談室」

は、いろいろな方面から検討する必要があると思います。やはり将来的に統合できたら生徒にとってもいいと思います。」

—議会に何か要望がありますか。

「学校と地域住民が一体となった取り組みがもっと増えたらいいと思いますが。」

—教育委員会では、地域と一体となった活動を

促進するため学校評議員の設置や、新たな中学校建設に向け検討しています。

議会としても、十七年度には特別委員会を設置

し、中学校統合の検討をしていきますよ。

「いいですね。これからもっと、学校と地域が一体となった取り組みが増えることを期待します。」

### インタビュー後記

心の教室相談員として、現在もさらに別の心理士の資格に挑戦する前向きな姿勢に心打たれました。

その姿勢があるからこそ、生徒たちも信頼し、本当のお姉さんのように慕って相談できるのではと感じました。これからも、町のためにがんばって下さい。

### 新議員紹介

倉知 敏美 議員



皆さんこんにちは。昨春は、暖かいご支援本当にありがとうございました。

大口に育って五十八年、直接行政とは縁のない毎日でしたので、最初は無我夢中で、驚きの連続でした。

住民の皆様とは、たえず生活に根ざした対話に努め、身近で親しみやすい議員でありたいと思っています。

確実にプロ意識を持って、たえず住民の奉仕者という原点を忘れず、皆さんとともに健康で元気のいいまちをつくらせていきます。日々努力していきます。

どうか、今後ともよろしく願います。



大口中学校「心の教室相談員」  
藤岡 雪子 さん

# 子育て支援グループ

## ママミーポケット

### 大口町ボランティアグループ紹介

大口町には、福祉活動などで活躍しているボランティアグループが数多くあります。毎回、各ボランティアグループをシリーズで紹介していきます。今回は「ママミーポケット」です。



ママミーポケットは、あおぞら塾子育て部会のメンバーや、子育てや情報紙づくりに興味がある人が集まって、昨年春から活動している子育てママのグループです。

おもな活動は、子育て情報紙「ぎゅっと」の発行です。三月には第三号を発行し、ほほえみプラザで手配りもしました。

また、社会福祉協議会や町内の小児科医院にも置かせてもらっているの、ぜひ一度読んで下さい。

ほかに、ママさん同士が子どもを遊ばせながら情報交換するママーズルームを年四回開催しています。第二回は五月十一日、ほほえみプラザ四階和室で、町内のお医者さんをお呼びして開催します。診察室では聞けないお話も聞けたらと考えています。



参加費は無料、もちろんお子様も一緒に構いませんか。

お友達を誘って、気軽に遊びに来て下さい。

#### 連絡先

社会福祉協議会

ボランティアセンター

☎94-00660

皆さん議会傍聴に  
来てください

次回定例会

6月3日(木)から 予定

手続き簡単。  
3階で住所と名前を書くだけです。

## 編集室風聞

大口に住み早二十八年。当時は買い物も、近隣市町に走ったことを思い出す。

今は町が活気づき、本当に住みやす。そして便利になった。春はさくら。さくらと言えば五条川。

心なごむ、五条川のさくらに感謝。  
(柘植副委員長)

お力添えをいただいた皆様に感謝の気持ちも、一層の充実を期待します。  
(伊藤委員長)

## 議会傍聴記

皆さんも  
自分の目で



(秋田) 島田 和恵 さん

今回、二日間にわたって議会を傍聴しました。一般質問では、町長と議員さん同士の熱気あふれる答弁のやりとり、その横で必死に資料に目を通す議員さん、本堂に議して議を傍聴しました。一般質問の内容は、巡回バスから安全マップの作成に至るまで、住民のサービスマン向上を願う身近な問題はかりであり、議員さんが住民の立場にたつて、一生懸命議会に望む姿勢を見て安心しました。ぜひ皆さんも、自分の目で確認してみたいでしょうか。

場が一体となり、真剣に取り組んでおられる様子がひしひしと伝わってきました。

3月定例会 No.150

平成16年5月1日

発行/大口町議会 編集/議会だより編集委員会  
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下ハロセ七丁目155番地  
TEL (0587) 95-1111 FAX 95-1454

古紙配合率100%再生紙を使用しています。